



町民投稿

書き初めや 五輪出場 孫の夢(久雄)

2018.1

No.138

松川町議会です

シリーズ 『えがお』



特集

観光局設立に向けどう動く

2ページ

——松川版DMO 役割と可能性——

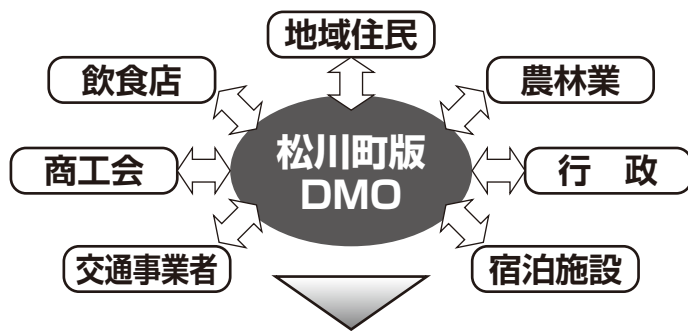
町の問題点を先進事例に学ぶ
住民の関心と期待 一般質問

8ページ

13ページ

“一緒にコスタリカ料理を作って皆さんでいただきました。” 中央アメリカ交流パーティー

てよしの 観光地域づくり 観光局（仮称）とは



観光を手段としたまちづくりの先には、以下のような効果も期待されます。

産業の活性化・雇用創出

滞在交流型の観光で農業をはじめ第1～3次産業全体の活性化に貢献する。

移住(U、Iターン)の促進

地域外の人との交流を通じて、郷土愛や地域の誇りを醸成し、U・Iターンの促進に貢献する。

滞在交流型の観光を推進

交流人口の増加

くだものの里まつかわのくだもの観光に加え、歴史や自然体験など地域の観光資源を生かした「滞在型」観光の推進や、地域全体の観光マネージメントを

町の将来を担って

一元的に担うため、松川版DMO（地域と協同して観光地域づくりを担う法人）を30年3月に向けて設立を目指しています。

少子高齢化や人口減少といった社会的課題を背景に、観光を手段としたまちづくりにより地方創生の実現を目指します。

目的は

事業の概要

①滞在交流プログラム・旅行商品の造成販売



内容

- 自然や人や農的生活を素材にした松川ならではの体験と交流のプログラムを地域の方と共同で作成、販売。



期待効果

- 地域に新たな生業や経済効果を創出。
- 人と人の交流を通じて「松川の誇り」「松川への憧れ」を生み出す。

②“ワンストップ” 観光窓口



内容

- 過ごし方、食事、宿泊の情報を1ヶ所に集約し観光案内所や専用ウェブサイト運営。



期待効果

- 松川に関心のあるお客様を漏れなくおもてなし。
- 町内の資源とお客様を適切に繋ぎ合わせる。

③広報・マーケティング



内容

- パンフレット、ウェブサイト、SNS等による情報発信と効果測定（満足度調査等）。
- ふるさと納税の返礼品選定や開発。



期待効果

- 新たな松川ファンの獲得と「松川ブランド」のさらなる磨き上げ。

④青年の家リニューアル



内容

- 家族客、若年層を対象にした宿泊施設の提供。
- 自然体験や環境教育のプログラムを提供。



期待効果

- 日帰り客、若年層を取り込み、観光消費額増加と雇用の創出。
- 体験型教育の環境充実＝子育て環境の充実。

12月定例議会総括質疑

ここが聞きたい

12月定例議会では専決処分事項の報告と、条例について一般職員給与・個人情報保護・町税の3件の改正について、補正では一般会計（第4回）・国民健康保険（第3回）・介護保険（第2回）・公共下水道（第2回）・農業集落排水（第2回）・保養宿泊施設（第3回）の事業について慎重に審議を行いました。主な質問は以下のとおりです。

質問 どこにある職場のプロ意識（黒澤議員）

答弁 土地評価意見書作成96万円は新たな要領を作成するため、不動産鑑定士や公認会計士などの専門家を必要とする。

質問 なぜ今なのか（島田議員）

固定資産税歳入

答弁 法人税300万円増は製造業が好調でアップの見込み額。家屋固定資産税160万円増は新築・増築65件あり。償却資産460万円増は申請の遅い方や修正申告によるものである。

質問 松川インター造成（坂本議員）

概略計画作成の意図は

答弁 リニアガイドウェイ置き場は、当初から町の企業団地として計画していた場所であり、JRの発生土を使った造成計画を町主体として行うための計画作成である。住民に説明できるようにする。

質問 補正増額？（熊谷議員）

準要保護児童就学援助費

答弁 文部科学省による通達で新入学児童生徒学用品等援助金が倍近く増額となり、差額分を小中学生ともに増額するものである。

質問 徴収できた町税延滞金（米山（俊）議員）

答弁 155万円増は県の整理機構へ督促を依頼していたもので2件回収ができたことによる。継続的に督促していく。

質問 北小エアコン設置・教材提示装置整備は（間瀬議員）

答弁 エアコンは北小小学校の給食棟への設置である。児童の食の安全の確保であり春休みを利用して設置する。

中学校へ教育用として65型のテレビモニターを1年生に4台設置。教材提示装置とは教材を読み取る装置であり全学年で利用。

質問 耕作放棄地の利活用（中平議員）

補助金最大限活用を

答弁 299万円増は期の途中ではあるが新規農業者に活用された。事業費の半分が交付決定。

質問 当初予算で計上されなかった事業はいつ（佐藤議員）

答弁 12月補正ではない。5千万円は償還に回す。

質問 なぜこの時期に網戸予算を（黒澤議員）

答弁 春には窓を開けたいと思っている。



やっと環境改善（北小給食棟）

一般会計補正予算（第4回）主な補正内容

（歳入）		（歳入）		（円）
内 容	補正額	事 業 名	内 容	補正額
地方交付税	4120万	起債繰上償還	将来の負担を低減するため起債の繰上償還を実施	5000万
町 税	880万	特養松川荘施設修繕	緊急対応（トイレ内装パネル取替・北棟屋上修繕）	230万
寄 付 金	283万	道路補正他工事	側溝整備（1箇所）・道路補修（4箇所）・路肩補修（15箇所）など、緊急に対応すべき箇所について工事	850万
		燃やすごみステーション集積庫増設	燃えるごみ分別変更に伴い、集積庫を増設	169万
		松川北小学校給食室エアコン設置工事	夏場の安全安心な給食の提供	550万
		ICT機器整備事業	小中学校へ教材提示装置モニターテレビ65型を1年生クラスへ4台	252万
		保育園施設改修	中央保育園多目的室網戸設置・大島保育園トイレ改修消毒防止ネット修繕・上片桐保育園流し台修繕	155万

松川町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例



工場立地法の一部改正とは
工場を建てる際の周辺の環境に配慮する法律

- 工場立地法の緑地面積率の変更
緑地面積率20%以上を10%に
- 工場敷地面積に対する環境施設の面積率25%以上を15%以上に変更
- 指定区域のみ緩和する

平成29年度松川町一般会計補正予算(第4回)について

反対

第4回ハーフマラソンなど来年度事業が12月に補正計上されるのは疑問である。
佐藤議員

観光局法人登記費用が計上されている。観光局はまだ住民の理解が得られていない、第二の観光課になるのではないか。
米山(郁)議員

賛成

工場敷地内の緑地率を軽減する条例で企業の負担を軽くするもの。生産性・経済性向上にも適性。

米山(俊)議員

町内の企業団地において限られたスペースの中で頑張っている企業の発展と基盤強化の面で良い。

間瀬議員

工場拡張の妨げになっていた条例で工業団地の中で企業側から再三要望されている懸案である。

坂本議員

反対

工場誘致が難しいなか、町は町内の企業の活性化を図ることが大事と考える。緑を守る会から環境に配慮の要望書があり、環境について考えるべきだ。
佐藤議員

リニア対策特別委員会設置

2027年にはリニア中央新幹線が南信州に開通、10年後の松川町を考えていくうえで、今抱えている問題、これから発生する数々の問題に対処すべく調査、検討を行うためにリニア対策特別委員会を設置することとしました。

- | | |
|----------|---------------------------|
| 1. 名 称 | リニア対策特別委員会 |
| 2. 設置根拠 | 地方自治法第109条及び松川町議会委員会条例第5条 |
| 3. 設置目的 | リニア対策に関する調査(対策) |
| 4. 委員の定数 | 14人 |
| 5. 調査期間 | 調査終了まで |

リニア対策特別委員会
委員長 熊谷宗明議員

重責を担うことになりました。二元代表制のもと、住民の皆様の声に寄り添い懸念される課題に向き合っていく所存です。また10年後の開通に向けて真剣に取り組み、夢と希望がある、持続可能な町を目指します。

リニア対策特別委員会
副委員長 間瀬重男議員

安全安心を第一に行政と町民の皆様とともに、情報を共有しより良いまちづくりのために頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

だより

社会文教 常任委員会

11日(月)に総務産業建設常任委員会を行い、委員

調査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です

※社会文教常任委員会とは、住民税務課・保健福祉課・教育委員会及び議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答弁

①軽自動車税の現年課税分140万円の増の理由は。

②延滞金115万円の増の内訳は。

③保育所費の賃金の減905万円で保育サービスができていますか。

④名子中央保育園の生ごみ処理機の中古品購入の理由と多目的ホールへの網戸の設置の説明を。

⑤めばえ支援事業の30万円増の理由と実績は。

⑥オレンジカフェの利用が増えている。今後の職員育成は。

⑦コスタリカ・ホストタウン計画の目的は。

⑧国民健康保険の基金積み立て7000万円は、冬を迎えるこの時期だが予算的に大丈夫なのか。

⑨介護予防の1000万円の減額の理由について。

①予算編成時より四輪車の新車購入による登録が、自家用貨物車50台、自家用乗用車100台余り増えたことによる。

②延滞整理機構への委託と県税徴収対策室あわせて97万円程と、町が徴収した分の合計115万円です。

③現在73名体制で充足させている。

④購入価格が新品より10分の1ということ、使用頻度と必要能力を考えた上で、中古品でも十分対応可能と判断した。網戸の設置は夏場の窓の解放時に必要と判断した。

⑤現在6件の申請があり当初予算で不足が予想されることによる。平成14年から85件の申請があり、26件が出生に結びついている。

⑥経験者を探している一方、地域おこし協力隊員が介護予防運動指導員の資格取得中である。

⑦コスタリカの柔道トップアスリートとの交流や、スペイン語講座などを通して町民の国際化・グローバル化を目指したい。

⑧例年の実績に基づき4%の医療費上昇で見込みを立てたがここまで前年度を下回る状況であり、予備費も7000万円を上回っている。冬場のインフルエンザなどにも対応できると判断している。

⑨デイサービスについて当初予算で一人当たり週2回の利用を想定し、予算を立てた。利用者数は増えたが週1回の方が多かった。利用回数の減少によるものである。

平成29年度松川町一般会計補正予算(第4回)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)、介護保険事業特別会計補正予算(第2回)については、全員賛成で当委員会では、各補正予算とも原案の通り認めることが妥当と決した。

調査・研究

中学校給食棟建設進捗状況の確認と補正でされた名子中央保育園多目的ホールの網戸設置現場・中央小学校図書館改装現場を視察し、名子の旧商業施設も見て、今後の利用など課題について確認し、その後協議を行いました。



夢のある図書館に

総務産業建設 常任委員会

※総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室の分野を担当しています。

委員会

12月7日(木)に社会文教常任委員会、12月会ごとに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に

質問・意見

答弁

①燃やすゴミ集積所20カ所増設について、廃プラが1週間に3回まで出せるようになったが、小分けに出せば特別必要なかったのではないかと。状況は。

②松川インター企業団地造成概略計画作成ということで、150万円、住民の説明用ということであるが今後の説明会についてどうなっているか。

③生東地区防災マップ作成経費が計上されているが、事業の進捗とこれからの進め方は。

④農業集落排水事業の歳出、簡易カメラ調査異常個所の委託料、200万円について場所と補修箇所は。

⑤若者定住住宅取得祝い金、当初予算より増えた。15件の皆さんはどういう方たちなのか。

①増設場所は古町・新井が5カ所、名子が8カ所、上大島が5カ所、上片桐と生田が1カ所である。人口の多いところが多い。8月末に廃プラの排出が通常の4倍程度あり、9月・10月の報告では大体4～5%の重量増である。

②この図面ができた上で、住民説明会、地元説明会をしていきたい。それ前には当然個々の意向調査などは随時行っていく。どの程度の土量を要するかがポイントで一番良いものを作って理解を得ていきたいと考えている。

③生東区を3月いっぱい第1段階としている。来年は土砂災害の危険地域や浸水域に含まれている福与地区、その後断層地帯である大島・上片桐地区の皆さんと一緒に防災マップ作成をしていきたい。

④全部で11カ所。1番古い上片桐下地区が8カ所、大島地区で3カ所。工法は自走式のロボットを入れて不具合のあるところをガラス樹脂でコーティングするやり方である。水廻しや管の洗浄などにも必要になり高額になってしまう。

⑤Uターンの方が実家のお隣へ家を建てるとか、そういったケースが多いのかなと思っている。新規就農された方は見受けられない。

付託された補正予算は、全会一致で原案通り認められた。

協議事項

【建設課より】古町東部におりていく道を通称で前河原道路という。ここの位置に、JRの残土を利用して道をつくりたいと考えている。現地調査を行うことで、概略設計の委託発注を行いたい。



信号機設置が待たれる宮坂交差点

調査・研究

名子原県住跡地、檜原の町道認定箇所、上片桐専用側線跡地、懸案の宮坂交差点、名子の旧商業施設の現地調査を行い、それぞれの課題について協議を行いました。

ヒントを求めて どういからすか

議会のうごき



元氣なお年寄りハ村の資源

年何億円も
売り上げる。
村の資源を
活用したビ
ジネスと、
生涯現役で
働ける環境
づくりにも
くのことを
学んだ。
小さくて
もキラリと
光る産業を
当町にも。



元氣になれてホツとできる「居場所」

4月から運
営がされて
いる。志あ
る人が事業
として成り
立たせるに
はどうサポ
ートしてい
るか。議会
では支援・
助成などを
含め県へ陳
情を行って
いる。

今後、増加が予測さ
れる利用者やその家族
介護者に対して、指導
者の養成、居場所確保
充実したサービスなど
早期の対応が求められ
る。

**国からのキーマンが
村を変えた**
川上村副村長 西尾友宏氏

10月16・17日の2日間、川上村、小川村、浅川ダム他を現地視察するとともに、事業を立ち上げた方に話を聞いて解決のポイントを探った。

「女性活躍」の川上村「おやき」の小川村
総務産業建設常任委員会

※関係人口：観光以上定住未満。

特定の地域に関わり続ける層のこと

向)の、村に対する思
いの強さが女性を動か
し、村民を動かした。
女性活躍から始まった
関係人口増への取り組
みは、当町に生かせる
と感じた。

**定年なしの小川村
おやきビジネス**

村おこし事業として
脚光を浴びている「お
やきの庄」を見学した。
縄文竪穴式住居の囲
炉裏では、地元のおば
あちゃんたちが大活躍

地域の居場所(カフェ)づくり
社会文教常任委員会

さまざまな背景を抱える子どもたち。増
加する認知症の方。その「居場所」づくり
に取り組む法人を、10月18・19日に行政・
法人運営者とともに視察研修を行った。

夢を育むカフェ

高崎市の「居場所づ
くりサポート サミ
ース」は、ボランティ
ア頼みの理想だけでは
運営できないため、賛
助会員を募り利益を確
保する部署とその利益

で理想とする「居場所
づくり」「子ども支援」
の運営ができる仕組み
づくりを成功させた。
養護学校の開校を夢見
るカフェであり、大変
参考になる事例であつ
た。町内でもNPO法
人が立ち上がり、昨年

家族も当事者

昨年5月、認知症の

方の居場所として空き
家を利用した「オレン
ジカフェ」が町内に開
設された。利用者の増
により対応が遅れがち
なサービス。高齢者見
守りシール・徘徊者探
索機器の貸与など積極
的に取り組んでいる八
王子市。その代表格で
ある「ケアラズカフェ
わたぼうし」を視
察した。認知症の人と
家族介護者がいつでも
気軽に相談でき、安心
して過ごせる場・利用
者が相互に情報交換で
き、また運営に参加で
きる理想的な法人では
と感じた。

課題解決の 実例から何を学び

る。当町の議会だよりモニターさんのご意見も取り入れながら号を重ねるごとに読まれる議会だよりにしたい。

長野県地方自治 政策課題研修会

(11月9日 県庁講堂)

- ① 次期長野県総合計画に係る県議会の取り組みについて
- ② 地域とともに歩み始める長野県立大学について

県5か年計画に対しては、県議会の中に「研究会」を設置し、執行部からの説明に対する意見・提案について報告を受けた。

羽村市議会だより「ぎかいのトビウ」の編集担当8名の委員と、紙面作りの工夫などについて意見交換した。表紙に住民自治を担う市民活動団体の写真を使い、その活動の様子をインタビュー記事で紹介。表紙との連動で親しみやすさが出てい

香木村議会の 改革に学ぶ

(11月14日 香木村福祉センター)

飯伊の市町村議員の有志でつくる勉強会「ゆめみらい南信州」に10人が参加した。

香木村では12月より、一般質問や委員会審議を夜間、休日に行うことを決めた。6月の同村議選の無投票が改革機運の高まりにつながり、若い世代も含む会社員らが働きながら議

員活動ができる環境を整え、人口減少による議員の担い手不足の解消につなげたいとの考えを聞いた。

タブレット端末を活用した議会運営については、ペーパーレスの促進、業務の省略化などを狙いに全議員に端末を貸与しており、研修会では実際に操作して議案審議の流れを模擬体験した。



全議員にタブレット端末が貸与されている

改革の流れを今後も注視して、当議会に生かしていく必要性を痛感した。

県への陳情 待たれる早期の予算化

(10月20日 大鹿村交流センター)

下伊那北部ブロック 町村議会総会

9月に県庁に出向き県と県議会に要望・提言・陳情を行った。その経過と結果の報告があり、質疑応答が行われた。採択された議題への着手が待たれる。また、県議会の姿勢が問われる継続審査項目である。

県議会陳情審査結果

平成29年9月定例会

陳情内容	審査結果
① 子どもと障がい者の医療費助成と充実について	継続審査
② 子どもの居場所支援事業及び助成制度の充実について	継続審査
③ 保育園設置市町村の負担軽減について	採択
④ 介護保険制度を維持可能な制度とする見直しについて	採択
⑤ 中山間地域介護保険サービス事業の拡充について	継続審査
⑥ 福祉医療制度の改善及び拡充について	継続審査
⑦ 主要地方道「飯島飯田線」上片桐バイパスの整備促進について	採択
⑧ リニア工事に伴う安全対策について	採択
⑨ リニア中央新幹線事業における環境保全について	採択
⑩ 県道上飯田線の改良促進について	採択
⑪ 仮称「新万年橋」の早期完成について	採択
⑫ 河川整備の促進について	採択
⑬ 道路交通網の整備促進について	採択
⑭ 主要地方道松川インター大鹿線の改良促進及び国道152号の通年通行の実施について	採択
⑮ 空き家等対策に対する財政支援措置について	採択
⑯ 県での統一した校務支援システムの共同調達について	採択
⑰ 県での統一した校務支援システムの開発・導入について	採択

② ③ ⑦ ⑧ 松川町議会陳情議題

⑰ 28年度継続審査議題

2017年度 議会報告会(議会と語る会)の報告

本年度は10月21日～11月19日にかけて全地区での開催と2団体の8会場で行われました。延べ251人の参加をいただきました。テーマは、観光局・リニア関連・太陽光発電について設定し、率直なご意見をお聞きする場としました。議会、町に対する貴重なご意見・ご要望を多数いただきました。ここでは抜粋して掲載いたします。

ご意見・ご要望

- 小学生の通学にコミユニティーバスの無料利用を要望。
- 薪で焚いている風呂にも助成金を。
- 政策提言などメール受付を可能に。
- 地域の未来を考える「町・議会・地域住民」の協議会設置を。
- 福与ふれあい館は防災避難場所であるが水没地区になっている。検討を。
- 生東地区のインフラ確保に土砂崩れなどの防災対策を。
- 旧生東保育園リズム室は取り壊し計画のようだが避難場所として活用を。
- 消防団分団体制で生田の消防車が減となるのか。さらなる防災を望む。
- Jアラートが鳴った場合における区と自治体対応を示してほしい。
- 獣害防止柵の効果以上に獣害が増えていく。対策を。
- 台城公園の維持管理と整備計画を。
- 農地等の利用適正化の指針とは。
- 燃えるごみの袋が黄色の半透明になった。高齢者にもわかりやすい他の種類への転用を。
- 井水が大雨でオーバーフローし大量のゴミが流れてくる。地元施工も限界がある。検討を。
- 老人福祉センターの耐震工事はいつまでに行えるのか。
- 前河原の通称ふるさと農道改良を。
- 町道59号線上新井交差点に早く信号機設置を。
- 一の坪線の道路拡幅を。未満児保育が増大し

保育士が不足しているのでは。対策を。

● DMOとは何か？いまひとつ不明。

● 観光局の採算が合わずに町費の投入をあまりしてほしくない。

太陽光発電について

● ある程度の規制が必要。

● 設置箇所周りの住民の意見を大事にしてほしい。

● 耐用年数後の処理問題をきちんと決めてほしい。

● 太陽光発電は賛成、町先導で造っては。

● 原発事故を考えれば賛成である。

● 景観を害さない地域限定にしたかどうか。

リニア関連について

● 真剣に考えてほしい。

● リニア関連について最初に説明すべき、経過報告が必要。

● 多大な犠牲を背負っている町である。町は町民の意見を聞きしっかりとした対応を願いたい。

● リニアに対して過大な期待は疑問。

● 発生土の有効活用と生田住民のメリットとは。

● 観光局の事はいいことである。費用対効果で確認し公表を。

観光局について

広聴部会より

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。テーマについて事前の参考資料が無い、議会として回答不十分、運営が適切でないなどのご意見がございました。今後検討してまいります。いただいたご意見は社会文教常任委員会・総務産業建設常任委員会・議員協議会にて検討し提言に結び付けてまいります。



議 決 結 果

●全会一致で議決されたもの

平成29年第4回定例会議決結果

件 名	結果	内 容
29年度補正予算 専決	承認	歳入歳出 809万円
専決処分	承認	片桐松川河川敷雑木伐採ボランティア中の負傷による災害補償
	承認	自動車破損による損害賠償(町道東原線)
	承認	自動車破損による損害賠償(町道青木桜山線)
平成29年度補正予算	可決	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)
	可決	介護保険事業特別会計補正予算(第2回)
	可決	公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)
	可決	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)
	可決	保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第3回)
町道認定	可決	町道の認定について
条 例	可決	一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	可決	個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
	可決	税条例の一部を改正する条例の制定について
協定の締結	可決	公共下水道松川洗浄センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について
議会提案	可決	リニア対策特別委員会の設置について
人 事	同意	固定資産評価審査委員の選任について
	同意	リニア対策特別委員会の正副委員長選任について

●多数意見により議決されたもの

○ 賛成 ▼ 反対 - 欠席

件 名	米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	黒澤哲郎	坂本勇治	熊谷宗明	米山俊孝	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
条 例	○	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	緑地面積の敷地面積に対する割合10/100 環境施設の面積の施設面積に対する割合15/100
29年度補正予算	▼	▼	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	歳入歳出6107万円追加し 66億2427万円に

主 な 議 会 日 程

10/ 3(火) 第2回議会だより編集会議	10/31(火) 飯伊市長村議会研修	11/24(金) 議会全員協議会
10/ 5(木) 議員協議会	11/ 2(木) 議員協議会・議会報告会(生田地区)	11/30(木) 議員協議会
10/ 6(金) 赤十字病院との意見交換会	11/ 6(月) 地域活性化研修	12/ 5(火) 定例会開会
10/16・17(月・火) 総務産業建設常任委員会 視察研修	11/ 7(火) 広報部会視察研修(羽村市)	12/ 7(木) 定例会社会文教常任委員会
10/18・19(水・木) 社会文教常任委員会視察研修	11/ 9(木) 長野県地方自治政策課題研修会	12/11(月) 定例会総務産業建設常任委員会
10/20(金) 下伊那北部ブロック町村議会総会	11/10(金) 議会報告会(新井地区)	12/12(火) 総務産業建設常任委員会
10/21(土) 議会報告会(名子地区)	11/11(土) 関東松川の会総会	12/14(木) 社会文教常任委員会
10/22(日) ふれあい広場	11/13(月) 社会文教常任委員会	12/18(月) 議会改革推進委員会
10/28(土) 議会報告会(上大島地区)(上片桐地区)	11/15(水) 議会報告会(まちづくり委員会)	12/20(水) 定例会一般質問
10/30(月) 議会報告会(女性団体連合会)	11/16(木) 坂城町議会来庁	12/22(金) 定例会閉会
	11/19(日) 議会報告会(古町地区)	

ただ 所信を質す！ 一般質問

- 1 坂本勇治議員 (13 ページ)
・ 行政の仕事とは
・ 所有者不明の土地問題について
- 2 熊谷宗明議員 (14 ページ)
・ 住民をつなぐ公民館とは
・ コスタリカとの交流は町民に何をもたらすのか
- 3 米山俊孝議員 (15 ページ)
・ 小学校、中学校全体を通してお尋ねします
- 4 米山郁子議員 (16 ページ)
・ 町民にやさしい町であるために地域公共交通の取り組みについて
- 5 松井悦子議員 (17 ページ)
・ 太陽光発電施設用地の固定資産税大幅減免について
- 6 中平文夫議員 (18 ページ)
・ これでよいのか働き方改革 人材育成と自己啓発 職場環境改善委員会
- 7 川瀬八十治議員 (19 ページ)
・ 今年度から始まった入学祝い金制度について
・ 固定資産税について(見直しについて)
- 8 大蔵 洋議員 (20 ページ)
・ 残された課題の取り組みについて
・ 松川インター企業団地について(ガイドウェイヤード)
- 9 佐藤史人議員 (21 ページ)
・ 町民の「今の松川町はだいじょうぶ？」にどう答えるのか
・ 町民の声「今の松川町はだいじょうぶ？」にどう応えるのか。
- 10 黒澤哲郎議員 (22 ページ)
・ 教育環境の変化と学力向上について
・ もっと機能する行政にするためにすべきことは

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。

本会議での傍聴をお待ちしております。

2017年度—4月～12月の 政務活動費実績報告

氏 名	活動内容	支出額計
森谷 岩夫	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	4,990
熊谷 宗明	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	4,990
間瀬 重男	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	33,271
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	世界情勢からわがまちの未来をつくる(滋賀)	
米山 俊孝	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	46,051
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	世界情勢からわがまちの未来をつくる(滋賀)	
	災害対応力強化に向けて(滋賀)	
坂本 勇治	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	35,563
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	地方議員のための政策提案(滋賀)	
黒澤 哲郎	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	46,054
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	世界情勢からわがまちの未来をつくる	
	災害対応力強化に向けて(滋賀)	
菅沼 一弘	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	4,989
中平 文夫	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	48,315
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	地方議員のための政策提案(滋賀)	
	災害対応力強化に向けて(滋賀)	
佐藤 史人	新人議員研修(滋賀)	55,547
	オリンピック・パラリンピック(滋賀)	
	自治体決算の基本(滋賀)	
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
米山 郁子	住民とのコミュニケーション向上(滋賀)	60,523
	新人議員研修(滋賀)	
	太陽光発電と環境アセスメント(上田)	
	地方議員のための政策提案(滋賀)	

インフォメーション

★チャンネル・ユー 「議会の時間」のお知らせ

毎月、概ね第3土曜日午後7時よりを予定していますが、月により変更があります。詳しくは、再放送日を含めて番組表で確認の上ぜひご覧ください。

★表紙の笑顔の写真と俳句を募集！

★議会だよりに対するご意見や疑問などを投稿ください。
文字数は300字～400字以内としてください。

申込み・お問い合わせ先

★各募集の投稿や条件のお問い合わせは議会事務局まで。
★掲載の可否についてのお問い合わせはご遠慮ください。
Tel36-7020 メール gikai@matsukawa-town.jp

人 事

教育長職務代理(退任) 固定資産審査評価委員(再任)

お世話になりました

宜しく願います



湯澤徳晴 氏(増野)



細江良彦 氏(堤原)

問 町が行うべき行政の仕事とは

答 公正かつ誠実に事業をすすめていくこと

(問) 行政がやらなければいけない仕事とは。

(町長) 住民の福祉推進と国県からの法廷受託事務だと思っている。

(問) 東日本の震災を受け止まった原発により、国の自然エネルギー推進の政策が加速した。H24年に太陽光発電の全量買い取り制度ができた時に、議会は設置場所について市街地や、優良農地と自然環境、景観に配慮した最小限の規制を掛けないと、大変なことになると言い続けてきた。また、リニアに伴う残土の受

け入れについて、生田地区の同意の確認をきちんとしていくように言ってきた。残土の受け入れ地が安全で埋め立て後に有効利用できる場所の提案もしてきている。これらの議会からの忠告や提案・要望などを、無視してきたのはなぜか。

(町長) スピード感、対応、報告の仕方に課題はあったが、無視してきた認識はない。

(問) 町の将来を語る時に時代の流れを知ることが大事なはずだが、町の行政自体が時代に乗り遅れている気がする。40年前か

ら今までの世の中の移り変わりをどのように捉えているか。

(町長) 答弁無し

(要望) 町長の役割の一つに、行政業務のチェックがある。報告を受けたら常にチェックをして的確な指示を出すことを忘れないでほしい。

(問) 安心安全のまちづくり、町の活性化対策の一つに町の信用づくりがあると考える、町の信用づくりをどう進めているか。

(町長) 町民に信用信頼される行政であるために、朝などで職員にも信用の大切さを話している。また、町民の意見を聴くなかで、誠実に愚直な行動が大切だと思っている。

(問) 減災・防災のマニュアル作りの進捗状況は。

(総務課長) 地域防災計画の改定に取り組んでいるなかで、現在は、防災計画の素案と災害時の組織図の提案が委託業者から示されていて、各課部局で確認をしている。3月には防災会議を開催する予定で進めている。また、減災マニュアルは飯田ボラ



有効利用が期待されるバイク

(総務課長) 危機管理係の職員への呼びかけで8月から15名でバイク隊の、準備会が進められ、先進地の伊那市などを参考に、組織づくりや訓練の計画などを含めた松川町災害バイク隊要綱を作る作業をしている。

将来は住民の参加も想定し災害に備えていきたい。バイクは今3台有り、1台は配達などで常に使用して2台は免許所有者が公用車として使用している。

問 所有者不明の土地は有るか

答 有ることは認識している

(問) 所有者不明土地の固定資産税の状況は。

(住民税務課長) 課税標準の額が30万円未満の土地には、課税されないことから、そのなかに所有者不明の土地が

含まれていると思うが、数字的なものは把握していない。本年度、公示送達の手続きをした件数が6件あり、固定資産税で55万円程ある。



坂本勇治 議員



50年で変わったインフラ整備、これから10年でどう変わるのか、町のビジョンが試される

問 住民をつなぐ公民館とは

答 地域へ出向くことからやっていく

(問) えみりあがオープンして1年、240人の皆さんに生涯学習に関するアンケート調査を行い75%の皆さんから回答があった。

「この1年間でどのような生涯学習をしましたか」の問いでは、「していない」方が40%、「どのような方法で」の問いには「自宅での学習」がトップという結果であり、ともに集い語り合う必要がなくなってきたという状況が明らかになった。

このことを踏まえ、これからの公民館活動



熊谷宗明 議員

をどう推進していくのか。

(教育長) 公民館で主催するイベントや講座が固定化された皆さんが集まるだけで行われているという側面がある。多くの人が関わり、さまざまな集いが生まれるなかで新しいものが想像できる仕掛けを公民館主事が積極的にやっていくべきだと思っ

ている。

(問) 教室や講座が住民の皆さんにとって「やらされ感」があるのではないか、いかにその学習を住民主体に誘導していくかが問われているのでは。

(生涯学習課長) 一方的に立ち上げてきた学習もあると感じている。学習を進める支援者として、現在の事業を分



地域を知る講座から広がったツツザキヤマジノギクの保護活動

類し、整理することから始めてまいりたい。

(問) 地区公民館の活動は出やすいが、中央公民館へは足が向きにくいという課題が浮き彫りになった。両者の連携をどう図っていくのか。

(生涯学習課長) 地区館事業をクローズアップ

問 何をもたらすのかコスタリカ交流

答 自分の立ち位置を再確認

(問) コスタリカ交流事業は徐々に進んでいるが、地域をあげておもてなしをしていくような活動には至っていない。住民が考え、議論をし、決定する住民主体へのアプローチが必要ではないか。

(教育長) 私たちが旗を振って交流を進めているなかで、いかに住民主体の交流ができるかが課題。しかし、その

して発表の場を設け、良いところを吸収する企画を研究会で予定している。本館も部員も含めて地域へ出向くことからやっていく必要性があると思っ

(問) 教育懇談会では「元来、性格の違う町の広報と公民館報が一緒に

なっているのはおかしい」と大方の人が異を唱えていた。読まれる館報発信に向けて、切り離すことも考えたらどうか。

(生涯学習課長) 広報は行政の機関誌であり、公民館報は住民の機関誌であると捉え、検討してまいりたい。

芽はある。スペイン語会話教室には33人のバリエティーに富んだ受講生が集まり、次への耕しができた。民泊でコスタリカの

みなさんを受け入れた方たちは、交流を通して自分の立ち位置を再確認し、より掘り下げてみることにつながっている。



ラウラ大使と職員の皆さんを囲んでのホストタウン交流会

問 小学校・中学校の学力と生活は

答 心を開いて相手に近づく教育ができています

(問) 小学校・中学校のことについて、基礎学力向上に努めていることは承知している。学力とあわせて、日ごろ子どもたちから受けるあいさつなどから、気持ちの良い清々しさを受けるが、学校における状況は。

(町長) 私は以前の教育委員会の会議において、基礎学力の向上と社会性をお願いしてきた。親と一緒に体験する地域活動も郷土愛の醸成につながると思う。

(教育長) 子どもの学習の場で学んだことの振



米山俊孝 議員



手作りの給食

り返りなど改善に取り組んでいる。学力については、平成26年から公報で報告している。平均正答率と全校区平均正答率の全国と比較、子どもたちの学力と生活状況に相互関係もあり分析もして改善に取り組んでいる。

県や全国と比べて高い割合を占めているのが、家族との会話、例えば「家の人と学校での出来事を話していますか」の設問は全国に比べて松川町の子どものちは高い。その他「将来のことについて家族のひと話しますか」「学校にことは楽しいですか」「学校で好きな授業がありますか」「地域の行事に参加していますか」「地域や社会を良くするために

何をすべきか」などの設問に対しても高い数字を示している。

あいさつは、結局は心を開いて相手に近づく意味で中学生の子どもたち、家の人たち、学校の先生方に、そして地域の方々に心を開いていつも関わっていただく。その証ではないかなと思う。

(問) 松川町は自校給食を取り入れているが、実施については賛否両論があり、近隣町村でも珍しい。実施したその成果は。

(教育長) 残食率の低さに成果は表れていると思う。全国平均年間7.1kgに対し、松川の小学校0.9kg、中学校約0.8kg非常に少ないと思う。

3校の栄養士、給食に関わる職員の取り組みが子どもに伝わっている結果と思う。

食材の地産地消の取り組みのなか、食育の一環で生産者との交流も残食が少ない一因になっていると思う。

(問) 愛郷心についてどのような取り組みをしているか。

(教育長) 先ごろ民放のCM大賞があり、中央小の6年生が、長野県町村会会長賞を受賞した。その子どもたちは、やっぱり松川町のこと

が大好きで、町を組体操で表現しその気持ちがいっしょと見て取れた。一番うれしかったのは、子どもたちを支えてくれる先生方で、やがて転勤される先生方ではあるが、非常に松川町が大好きで子どもたちの活動をしっかりとサポートしてくれた。

(要望) 人口減少の状況で、30歳代40歳代の皆さんをI・Uターンで呼び込むには、子どもの教育、指導の良い部分、成果の誇れる部分は、産業、居住政策と情報の共有を図り、外に向かいしっかりと発信をすべきと思う。

(町長) 町のなかでも当然情報を共有してやっていく。



食育・生産者との交流

問 地域公共交通の取り組み状況は

答 効率よく便利な公共交通を検討していく

〔問〕 障がい者差別解消法が施行されている。障がい者に対する取り組みは、保健福祉課だけの問題ではなく、行政や住民全体で考えていくべきことである。町は車椅子が利用できるコミュニティバスに対してどのように取り組んでいるのか。

〔まちづくり政策課長〕

現在運行しているコミュニティバスでは、ノンステップバスは一台のみであり、スロープ板の設置もしてありませんが、車椅子の方がご乗車の場合は乗務員が

介助という形で対応はしている。現在アンケートを募り、乗り込み調査を実施している。新しいシステムの可能性をみていくなかで障がい者の方も利用できるように検討していきたい。

〔問〕 長寿命化に伴い運

転免許返納が進んでいる。自主返納すると特典がある市町村があるが、松川町としては自主返納をどのように進めているのか。

〔まちづくり政策課長〕

松川町では運転免許証のある方へ直接的に返納を誘導する施策についてはしていない。しかし、以前から町では65歳以上の方にはコミュニティバスを無料にしており、一定の条件はありますが、高齢者

世帯についても、ひまわりタクシー券などの施策をおこなっている。高齢者が増えるのは当然で受け皿となる公共交通の整備というのは重大な課題とらえている。

〔問〕 上大島通学バス定期券が1500円から1000円と減額とな

った。地域では無料化を要望されているが、今後は無料化となるのか。

〔まちづくり政策課長〕

現在のところ、今後これ以上の無料化ということとは考えていない。平成24年にその地域のPTA代表の方が有害鳥獣などの心配があるということ、通学の手段として有料でもいいから公共交通に乗れるようにしてくれな

いかという要望によるものである。

〔教育長〕 義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令に基づいて、合併に伴う遠距離通学が生じる、2地区の子供たち、それから上片桐の一部の生徒については、通学バスを無料で利用するという形で進めてきた。

義務教育諸学校施設費 国庫負担法施行令

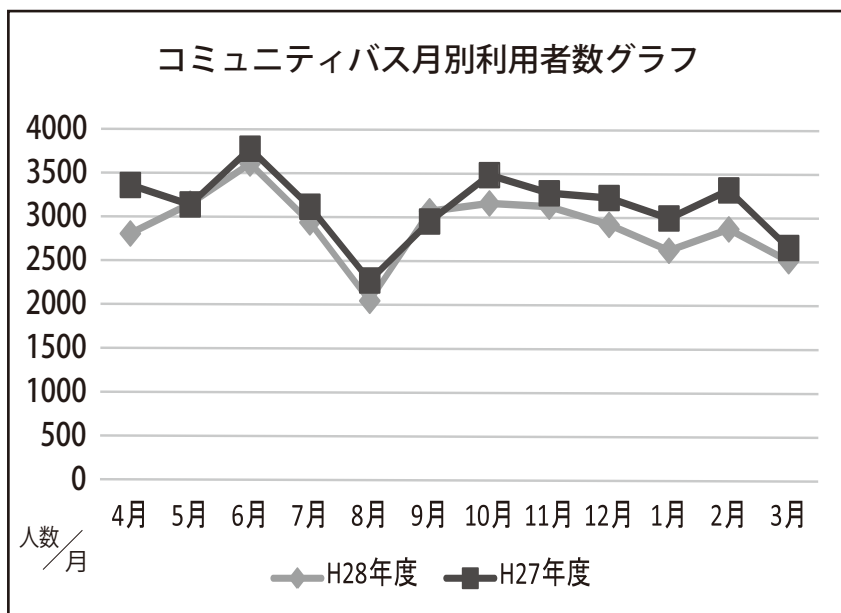
第3条(適性な学校規模の条件)
(2) 通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること

〔問〕 毎年4600万円

という費用を使っている。町民が納得しているかどうかという点でもこれから町としてどのように検討されていくべきなのか考えは。

〔まちづくり政策課長〕 平成28年度の実績では

コミュニティバス月別利用者数グラフ



公共交通コミュニティバスは協議会が運営している形である。協議会への負担金が4600万円であるが、特別交付税が2300万で約半分残り半分は町負担となる。これからの調査を基に効率よく便利な公共交通を検討していく。

〔要望〕 障がい者の方が利用できる高速バスのワンストップ導入を広域へ進言をお願いしたい。

〔町長〕 広域には政務調査会が三つある総務、経済、福祉、担当の委員会の方へ報告をして要望はしている。

問

太陽光発電用地、固定資産税の新課税方法を問う

答

宅地価格を基準にするよう、変更したい

(問) 平成25年から5年
間、太陽光発電施設用
地の固定資産税の多く
が農地並み課税とされ
てきた。

この税制を決めるに
あたり、平成24年7月
26日に役場内を回った
起案書には、「近隣町
村との整合性を取りつ
つ適正な価格を確定し
たい。」

県は「雑種地とする
が、周囲の状況に応じ
た評価をしてほしい」と
している。

県の言う周囲の状況
とは、周辺の雑種地と
比べて決めるようにと

の見解ではなかったの
か、町ではその点を誤
ったと思うが、どうか。

(町長) 評価基準につい
て県の指導などを仰ぐ
なかで、農地の価格を
もとに評価を行うこと
は間違いではないが、
評価額が据え置かれて
いることが適切でない
と言われている。

したがって、今見直
しを検討している。

(問) 相続税の算定で、
土地価格が低ければ正
当に評価されず、脱税
行為にならないか。

(住民税務課長) 税務署
に照会してある。雑種
地についてはいろいろ
な利用がされているの
で独自に「宅地比準方
式」で計算する。

税務署で該当施設を
調査し、近隣宅地の価
格を利用し、償還額を



松川町ののどかな風景を守りたい



緑化整備された設備

算出し直し、そこから
造成費分を控除して税
額を算出するので、問
題ないと考ええる。

(問) 来年度からの課税
方法について聞く。

(住民税務課長) 周辺の
市町村の多くが宅地の
価格を基準に考えてい
るので、松川町もその
ように検討していく。

(問) そうすると、宅地
課税の80%とか、70%
とかになるのか。

(住民税務課長) それに
ついては、理事者とも
相談して決めていきた
い。

宅地比準方式とは

宅地比準方式とは、その
農地が宅地であるとし
た場合の1平方メートル
当たりの価額からその農
地を宅地に転用する場合
にかかる通常必要と認め
られる1平方メートル当
たりの造成費に相当する
金額を控除した金額に、
その農地の地積を乗じて
計算した金額により評価
する方法をいう。

(問) 町民への周知はど
うするのか、相当混乱
が予想されるが。

(住民税務課長) 今後検
討していく。

(問) 町長は「自然エネ
ルギーの推進」と言う
が、なぜ推進なのか、
何が目的なのか。

(町長) 国が自然エネ

ギーを進めるのに合わ
せ、地産地消でこの地
域にも進めていきたい。

(問) 国は、大枠で推進
と言っているかもしれ
ないが、当町は自然し
か売れるものが無い田舎
町だ。松川町にそのま
ま当てはめられないの
ではないか。

果樹園風景も大事だ、
太陽光発電と景観保全
が両立できると思うか。

(町長) 両立するために
今ルール作りに取り組
んでいるところだ。

(要望) 遅ればせなが
らルールが作られると
いうことなので、ぜひ
実効性のあるものに
して欲しいと願う。

問 これだよいのか働き方改革の進捗状況

答 目標は進行しながら着地点を見つける



中平文夫 議員

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

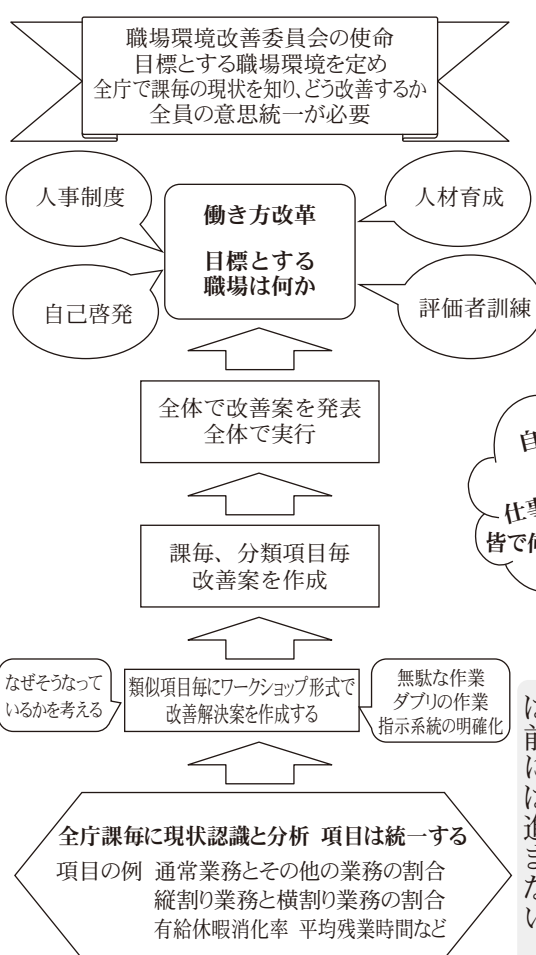
（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する

（意見）希望をもってはいられた新人が失望する



（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか

（副町長）町長は、常々役場はサービス業と言っているが、なかなか



川瀬八十治 議員

問

固定資産税の見直しはされるのか

答

30年度は見直しの時期である

〔問〕 昨年の12月定例会での町長の発言からは太陽光発電に対しての固定資産税の話は一切なく、今年の9月の定例会では固定資産税見直しの話題が出た。これは、「松川町の緑を守る会」から出た要望書が影響しているのか。

〔町長〕 太陽光発電のことについては、スタートしていろいろなご意見をいただきながら来ている。住民税務課長と相談するなかで、松川町が間違った税のやり方をとっているという認識はなくてきてい

た。しかしながら、その後いろいろなご意見をいただくなかで、9月に見直していくということをお願いした。そのことを申し上げた。その担当部署を集め、まず行政としてどういうことがとれるのか。

今までやってきたことをもう一度振り返るなかで、税やルール、条例、いろんな規則、いろんなやり方をどうやって精査していくのかと進み始めたところへ、ちょうど「町の緑を守る会」の皆さんからの要望書があった。そして何よりも監査意見書を私は重く感じて今日に至っているということでございます。

〔問〕 要望書の内容については条例などを作成

するような要望内容であったか。1765名の署名による要望書によって動きが変わってきたような気がするが。一点目は、ガイドラインの作成、策定について。

二点目は、太陽光発

問 小中学校入学祝い金の長期継続は

答 入学祝い金は継続していく

〔問〕 今年度から町施設の屋根に設置された太陽光発電の売電益で、小中学校に新しく入学される家庭に対して祝い金が支給をされた。入学の際には、大変に費用がかかるという

いては、太陽光の売電益で長期的に継続をしていくのか。

〔町長〕 松川町で行っている太陽光発電の売電益による小中学生の入学祝い金については、太陽光発電事業での収益は子育て支援に使っていくということ、全員協議会のなかで皆さんがたにお話をしている。その後の事業化が進み、平成28年度からいよいよ予算に組めると

電の土地評価の見直しについて。この2点についてお聞きする。

〔住民税務課長〕 3月に固定資産税の見直しがある。

〔環境水道課長〕 ガイドラインについては現在、案を検討中である。

■松川町の電力状況

●総消費電力量に占める太陽光発電電量

項目	平成27年度 (kWh)	平成29年度 (kWh)
総消費電力量	95,630,000	95,000,000
太陽光発電電量	14,561,000	18,776,000
割合	15.2%	19.8%

※平成29年度は推定値

■近隣市町村の太陽光発電

●太陽光発電設備の償却資産税

市町村名	平成29年 (万円)	平成30年 (万円)
松川町	2,640	3,000
豊丘村	173	197
高森町	1,027	1,167
飯島町	1,715	1,949
中川村	663	753
飯田市	4,288	4,873
駒ヶ根市	2,214	2,516

※松川町平成29年分以外は推定値

いうことで、その売電益のなかから返済あるいは基金としてとって置かなくてはならない分を除いた500万円、今年度はおおむね600万円を子育て支援ということで使う方針を

決めている。地域の資源を地域で豊かにするために使われるべきである。細かいことであるが、やはり再生エネルギーをふやしていくことはできない。

問 所信表明に対す満足度・課題は

答 評価は差し控えたい

(問) 深津町政2期目も余すところ15カ月。平成27年6月の定例会の所信表明のなかで示された公約に対し、その進捗状況は。

把握が疎かになつてはいないか。

(町長) 外交的、営業マン的な動きはしっかりとやっている。庁舎内の気配り、目配りについても副町長、教育長と相談するなかで対応している。

(問) 懸案事項の多くが完了、または方向性が示され実行に移されている。唯一、旧東小学校の活用については何ら進展が見られない。残された任期のなかで、どのような方向性を示し、計画していくのか。



大蔵 洋 議員

(問) いろいろと問題が取り沙汰されているなか、町長の視点が外に向けられ過ぎているのでは。庁舎内の人心の

(町長) 総合計画と整合性を計りながら愚直に実行している。点数については残された任期のなかで100点満点を目指してやっていく。現時点での評価は差し控えたい。



旧東小を地域住民サービスの拠点に

問 今、造成を図る思惑は

答 絶好のチャンス

(町長) あと利用検討委員会からの答申を踏まえ、高齢者の拠り所としてシェアハウスやサロン、子どもの活動の場など来年度に向け、

担当課と相談中。またさまざまな団体に対して、私の考えを示し、ご意見をいただきたいと投げ掛けをしている。

(要望) 地域住民の拠り所として、また青少年の活動、学びの場となるような複合的な施設への活用を一刻も早くお願いしたい。

(問) 松川インター企業団地候補地に、リニア工事の発生土を受け入れてまで7haの造成を図る思惑は。

(問) 地元住民からは、発生土の受入量や緑地帯を盛り込んだ施工完成図が示されないと賛・否の判断ができないと指摘されているが。

(産業観光課長) 町では設計が困難なため、専門家に委託し、早急に対応したい。

(産業観光課長) 現況の状態で企業誘致活動を進めても成果に至らなかった。県の紹介もありJRに土地の買取りを条件に手を挙げた。JRからは、3haを借地、発生土受入を条件に全面造成を行う提案が出された。多くの課題や財政負担を伴うが、絶好の機会と判断した。



企業誘致の可能性は

問

「松川町は、だいたいよくばっ」ってどいへん答えるのか

答

定例の記者会見は考えていない

(問) リニア残土、太陽光発電などの課題対処のために、職員の通常業務に、支障があるのではないか。このような大きな課題が出てきたらどうするのか。

(町長) 行政と議会では課題に対する捉え方が違うので、委員会のなかで意見を伺いながら進めていくことが大事だ。

(問) 知人から姉妹都市のイベントで、台風被害を販売したことにについて、くだものの松川町がどうしてと言われたが。

(町長) 被害をどうし



佐藤史人 議員

ていくかということでは事情を説明した上で販促につなげた。生産者の手取りを増やしたいという政策的な一面もあった。

(問) 町民は、町の動きや町長の考えを何で知るか。定例の記者会見が必要ではないのか。

(町長) 電子メールで、会議やイベント情報を中心に新聞社5社ほかマスコミ9社に提供している。それは当町のみで好評。町政懇談会や会合などに出席し、その模様をホームページに掲載している。今現在定例の記者会見は考えていない。

(要望) 町民はホームページで町を知るのではない。議会放送だけではない町長の思いを毎

月きちんとした形で語っていたきたい。

(問) 松川町が新聞やテレビなどのパブリシティ[※]に取りあげられることがほとんどないが。

先日フルートのリサイタル(松川町・伊那県文主権・長野県共催)があり、町外からも多くのお客様が来場された。松川町が文化にも力を入れている取り組みがパブリシティ情報として話題になることが大切ではないのか。

(町長) 全部、PRが出ているわけではない。町の発信力を高めることは、交流人口の増加にかかわる大事なことです。イベントカレンダーである「松川かわら版」を新聞折り込みしている。

(要望) 町民はホームページで町を知るのではない。議会放送だけではない町長の思いを毎

問

「松川町の進んでいく方向がわからない」ってどいへん答えるのか

答

町民総意の第5次総合計画に沿う

(問) 第5次総合計画の28年度の事業評価PDCA報告は、どうい

かされたのか。

(副町長) 各課の事務担当者レベルにおいて成果や実施状況については検証は終了。総合計画推進会議の皆さんには未報告。たまたま始まった30年度に向けての予算ヒアリングを町長を交えてやっている。総合計画を持ち出し内容をチェックしたなかで予算を作るよう指示している。今の総合計画は4年間。4年はあ

つという間に過ぎてしま

う。

(問) 28年度のPDCA報告もなく、29年度の組織目標の進捗状況報告書が11月末に出されました。生涯学習課の

社会教育施設の整備及び維持管理の項目で、「現在のところ問題なく推移、現段階での改善点はない。」と記載されていますが、教育長はどう指導助言されたのか。

(教育長) 点検評価欄の指摘の部分は詳しいチェックはしていない。「えみりあ」など利用される町民の声に応えられるよう管理する側の視点ではなく、公演者や参加される方々の要望を検討課題にしたい。

(問) 第6次総合計画の策定準備に来年度入るが、深津町長は次期も続投されるのか。

(町長) 今の時点で言うことは差し控えたい。

(問) 30年度の予算編成をするなかで第5次総合計画にない事業はどう位置づけをしているのか。

(町長) 第5次総合計画は町民総意でできたもの。そこに私の一番の施策である「交流人口の増加」を推進してい

く。

(問) 第6次総合計画の策定準備に来年度入るが、深津町長は次期も続投されるのか。

(町長) 今の時点で言うことは差し控えたい。



ここも「見える化」が必要!!
なかが見えない
「えみりあ」調理室

いっばん質問

※パブリシティ：マスメディアに向けて情報発信し、記事や番組で取り上げてもらうこと

問 教育環境の変化にどう対応する？

答 地域が子どもたちを育てることが大切

（問）今年一年を振り返ってみると今まででは考えられない凄惨な事件が多く発生している。子どもを含めた自殺も。どんな大人も学校教育を受け人間形成されたはずだ。社会の変化に伴い教育環境も大きく変わりつつある。今一度、当町の教育、子育てに対する考え方を伺う。

（教育長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（町長） 教育委員会には基礎学力向上と社会性の二つのことをお願いしている。また地域の皆さんが学校を応援し子ども達と接してく

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。

（教育長） てらこやの成果と小学校への取り組みは。年で5年目を迎え、中学3年生対象で夏休み中のみから毎週水曜日に開校されるようになっていく。また、学校の先生との連携もされるようになり、全国学力学習状況調査の小学校時と中学時との比較で成果が現れている。小学校では算数の指導教員を配置し、5、6年生を対象にクラスを



分割し少人数編成という形で対応している。（問）教師や保育士の長時間労働、働き方改革は。（教育長） 小中学校では県の平均に比べると少ないけれど、超過勤務がそこに現実としてあるという実態がある。まずは意識改革と統合型公務支援システムを活用し業務の効率化を図っていききたい。部活動は松川町スポーツ活動運営委員会を開催し時短など対策を講じている。（子ども課長） 保育士については話し合いのなかで休憩や残業などの対応をお願いしている。（意見） 保育園では現実に休憩が取れない、残業の常態化が現実にある。現場に押しつける対応でなく、お昼寝や掃除などのパートさん活用など親身になった体制づくりが必要だ。

問 機能する行政にすべきことは

答 働き方改革が中心になる

（問） 人事評価の見直し、人事交流の推進、労務管理、人材育成など働き方改革に繋がる多くの指摘や提案がなされてきた。しかし行政機能の改善、向上は依然として見えてこない。職員のやる気、態度の問題など体質改善がなされないのは、管理者、上司を含め改善のノウハウやスキルを持ち合わせていないことにつきていないのか。今は外部の力を借りなければ改革できないと思うが。また、分課の評価は。（町長） 新入職員や人事異動で対応できるシステム、マニュアルとしてスムーズに仕事に入っていく体制を作っていくことに取り組んでいる。分課についてはまちづくり政策課により横断的な対応ができていくのは進歩と思っている。

（町長） 非常に激しい変化のなかで子どもたちにとっての力をつけるのが一番のポイントだ。学力については知識や技能を使っているに創造的な思考がでる体験をさせていかなければいけない。社会性については家庭と地域が重要な要素で自分がどれだけ地域に貢献できるかも大事なポイントだ。当町の子どもたちは調査から自己肯定感が育まれている結果が現れている。それは単なる独りよがりではなく親や社会の役に立つことで、周りから認められた、それが自己有用感の支えとなる。



庁舎はキレイになったが

議会だより モニターちゃんからの意見

表紙・見出し・写真

●シリーズ「えがお」にふさわしい中学生たちがさわやかに表紙について良かった。「えがお」と特集健康長寿を

：の見出しも対象的で引きつける見出しであった。

●中学2年生のチャレンジショップの表紙ですが親近感があり可愛いらしさの残る素朴な写真で良いと思います。

●モニターしてもらった議会だより137号



こういう行事があったんだと知らせてくれる一面もあって表紙として目の付け方も良いと思います。

●各内容の見出しは大体内内容を的確に表現しています。問題把握をしていて議会らしさがあって良いです。「委員会だより」は常設記事だから見出しはもつと小さくて良いと思います。紙面が勿体ない。

●二度「みらい」の写真がある、どちらも建

物の外観だけは芸がない。

●写真を入れて見やすいページを作ろうとしているのが分かり良い。問題点が分かる図表も増えてきた。更なる改善を期待します。

●カラー写真のほうが良いとの意見もありますが、費用がかかるので現在の白黒でよいと思います。記事ごとに写真やイラストが入っており適切だと思います。

紙面構成(割り付け)

●特集「健康長寿を目指すまちづくりを」について、誰もが避けて通れない老いに関するものであります。高齢化社会となっていくため、タイムリーに問題提起していただいていたと思います。

●私は読みやすくて良いと思います。限られた紙面の中で、できる

だけ多くの情報を伝えたいという思いがわかります。

●「幅広く、もれなく、均等に」紙面を構成することが「平板でつまらなく読んでもよくわからない」紙面になっていると思います。視察研修のページでは報告の部分はもっと割愛して内容について記述してほしい。

●一般質問は住民が見ているようです。議員を知る所でもあります。住民にも気楽に質問を受けるように促したらページが充実します。

●進めぬ職場改善について、より具体的に取上げてほしい。職場全員のスキルの状況、今年度チャレンジした資格といった具体的なことを表にして答えていただきたい。

ほしい情報

●一般質問は質問答弁

が要約されていて良いが、突っ込んだ問答も記してはどうか。議決結果があり、議会の動き質疑結果がありわかりやすい。

●巻末「この町に暮らして」毎回、関心をもつて興味深く拝読している。ここに登場いただいている方々は全て自治会などへ加入いただいていると思うが、そうでない方々も果たして自治会や区に加入しているのかな、なんて思うこともある。自治会や区の役員をした時、未加入者宅を自治会・区加入勧誘に訪問した際、けんもほろろに対応されたことがあった。そこで役場担当者に入居者に対してその後のフォロー(例えば、「転入後、約1カ月が経ちますが、その後、不都合なことが生じていないか。自治会(区)への加入は済みま

したか」などの声掛けがされているか。

●各号でモニターの意見をいくつか取り上げ、それに対する議会の反応を聞きたい。



広報部編集委員会より

新たなモニターの皆様から二度目のご意見を頂きました。今回の議会だよりにもまだまだ反映しきれてはいませんが、頑張ってください。議会と町へのご意見も話し合いを行っております。

また、皆様からのご要望が多い議員の個々の活動の掲載については、編集方針として行わないこととしております。最も関心があるところかと思いますが紙面以外で伝えられる場を考えてまいります。今後またよろしくお願いたします。

静寂な山間を求めて

生田中山 山本 純



東日本大震災の起きた、平成23年の11月に生田中山地区に家が見つかり、様々なご縁をいただいて移り住みました。
東京の浄土宗のお寺の念仏自然道場として6年が経ちました。隣家とは離れている家なので、朝夕の勤行の木魚の音もそんなに迷惑にはなっていないと思っています。月一回の念仏会と時折の断食道場を行っています。

自然の中に住まわせてもらっていますので、四季折々の美しさにとり囲まれていて、心静かに暮らせます。訪れてくれる人達にも、この場所の風景に満足してもらっています。

ここに住んでなかなか大変だと思ふことが二つあります。一つは冬の雪かきで、町道から県道までの約140メートルを雪かきして、竹ぼうきできれいに掃いておきます。雪が残って凍結すると車の登降が困難になるからです。そのくらい急な坂道の上に住んでいるのです。もう一つは夏場の斜面の草刈りです。大汗をかいて熱中症ギリギリでがんばります。つらい作業も自分の体力と健康のバロメーターだと思つてこなしています。

静かな山里での暮らし、ここから部奈に抜ける道で、部奈集落入口の灌漑溜池に映る木曾山脈の雄大な眺めをよく写真に撮っています。県道22号線では春の訪れから、サンシユ、ヤ

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川町少年少女卓球クラブ

あいさつをしっかりすることを大切に基本的な打ち方をマスターできるように練習しています。単純な練習が多いのですが粘り強くまじめに取り組んでいます。仲間は4年生から中学2年生です。私達はみんな仲良く練習に取り組んでいます。興味のある方大歓迎です。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

マツツジ、新芽新緑、桜、藤と車の中からでも美しい自然を楽しむことができます。それから円満坊の阿弥陀如来座像と、一面観音座像も気に入っています。文化財としての価値もさることながら、信仰の対象としても興隆あらんことを願っています。

最近、Jアラートが二度も鳴ってしまいました。僕は強く、弱いときもあります。いつても平和を願って止みません。

あとがき

昨年は、我が町の果樹の主役である「ふじ」が、台風、秋の長雨により大きな被害を受け、果樹栽培を手助けする身として辛い年となりました。

第16期議会も二年目を迎えました。サポーターやモニターの方々から寄せられる貴重なご意見、身近な議会を目指して改革・改善に奮闘中です。

本年も宜しく願っています。

(大蔵 洋)

広報部 (編集委員会)

(部長) 黒澤 哲郎
(副部長) 佐藤 史人
(部員) 米山 郁子
熊谷 宗明
坂本 勇治
大蔵 洋
川瀬 八十治

事務局

米山 詩乃
北林 悠